

# 中央区老舗企業紹介

～経営・販売取組み事例～

発行：東京商工会議所中央支部

〒104-0061 中央区銀座1-25-3 中央区立京橋プラザ(3階)

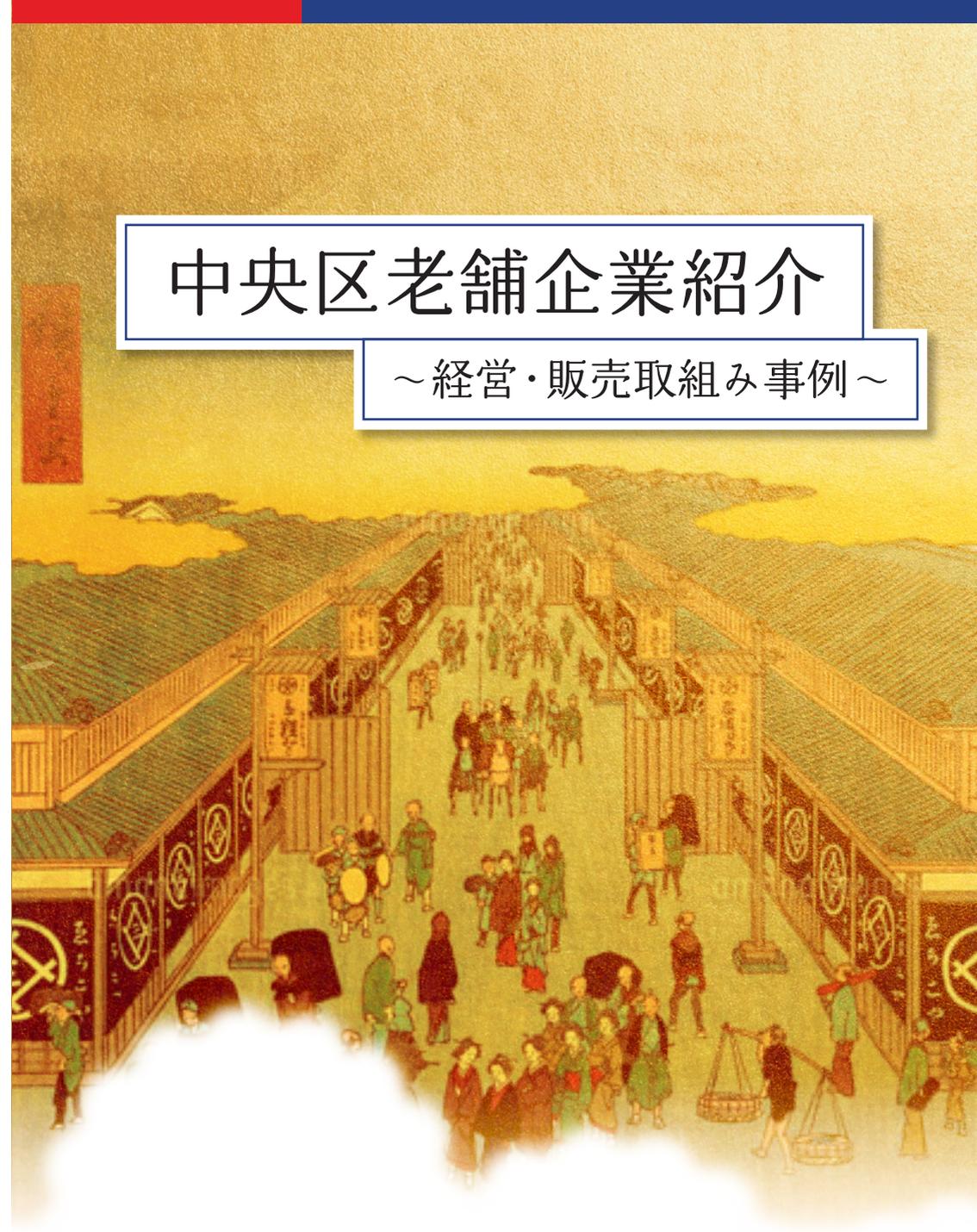
TEL. 03-3538-1811

印刷：金山印刷株式会社

2022年2月発行

挑みつづける、変わらぬ意志で。

 東京商工会議所 中央支部



## 目的

中央区には幾多の経営危機を乗り越えて永続している老舗企業が多数集積しています。東京商工会議所中央支部では、この地域特性を活かし、中央区老舗企業のこれまで経営苦難を乗り越えてきた経験・経営ノウハウや、コロナ禍における新たな販売取組み事例等をご紹介します動画を制作しました。また、実際に店舗を訪れることによって感じることができる、老舗企業に共通する「ひと」、「繋がり」、「想い」、「歴史」等の魅力を、「店舗編」の動画に盛り込み、販売商品とともにご紹介しております。

本冊子では、「社長インタビュー編」、「店舗編」で区内老舗企業5社へ取材し制作した動画のエッセンスをご紹介しますのでご一読いただくとともに、本編の動画も是非ご覧ください。本動画が長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経営環境に直面している区内中小企業の皆様の挑戦を後押しするきっかけとなれば幸いです。

## HP

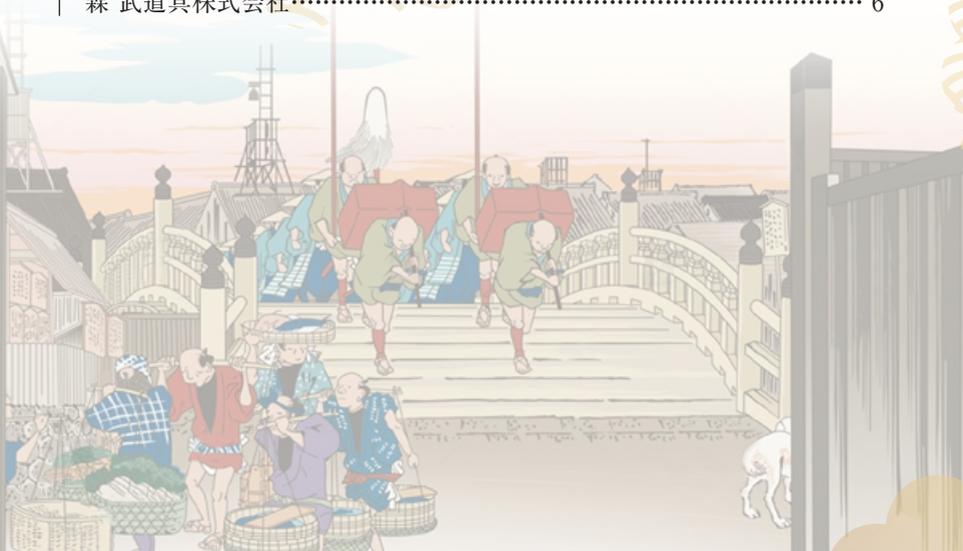
本動画は東京商工会議所中央支部のHPに掲載しております。  
是非ご覧ください。

<https://www.tokyo-cci.or.jp/chuo/shinise/pr/douga/>



## 目次

有限会社大野屋總本店	2
小津産業株式会社	3
株式会社白木屋中村傳兵衛商店	4
株式会社人形町今半	5
森 武道具株式会社	6



## 有限会社大野屋總本店

代表取締役 **福島 茂雄** 様



- ◆ 創業年：1772年(安永年間)
- ◆ 業種：足袋、肌着、和雑貨の製造販売
- ◆ 所在地：中央区新富2-2-1

HP <https://www.oonoyasohonten.jp/>



**大野屋總本店**

### これまでの経営危機について教えてください

戦時中は足袋が売れず、リアカーに晒(さらし)を積んで、兵隊に売りに行ったこともあったそうです。時代や状況に合わせて、お客様が本当に必要としているものを作ることは、今にも通じる経営のあり方だと実感しています。

### 経営危機をどのように乗り越えてきたのですか

売り手・買い手・世間良しの「三方よし」の考えで、お客様に満足していただける商品を提供できるよう、丁寧な物づくりを心掛けています。渋沢栄一の“皆のために自分のできることをする”という考え方はまさにその通り。お客様の求めているところを目指すことに、会社の存在意義があると思います。

### コロナ禍における新しい販売取組み等を教えてください

大口のお客様である歌舞伎やお茶会などが中止していたため、足袋の売上はほとんどなくなってしまいました。そこで空いた職人の手で足袋の代わりにマスクを作り、店舗やインターネットで販売を行っています。



店舗編では、足袋の製造プロセスや特徴をご紹介します。  
お客様のご要望に合わせているうちに、レースや麻等を用いて、様々な種類のマスクも出来上がったとのこと。  
老舗の手仕事を身近なものから体感することができます。

## 小津産業株式会社

代表取締役社長 **今枝 英治** 様



- ◆ 創業年：1653(承応2)年
  - ◆ 業種：不織布、洋紙・紙製品などの国内販売・加工、輸出入
  - ◆ 所在地：中央区日本橋本町3-6-2
- HP <https://www.ozu.co.jp/>



### 小津産業株式会社

#### ■ これまでの経営危機について教えてください

1923(大正12)年の関東大震災、1927(昭和2)年の金融恐慌等のあおりを受け、創業以来276年間経営を担っていた小津本家が経営から身を引き、法人組織化をするという大きな決断をしました。

#### ■ 経営危機をどのように乗り越えてきたのですか

基本理念の「伝統、それは継続的な開拓の歴史である」に基づき、お客様を大切にする文化、豊かな暮らしと社会に貢献することを重視してきました。また、外国籍の方や女性社員も比較的多いダイバシティ経営において、「家族のような一体感」のある社風は、社員を大切に、伝統と革新の経営を重ねてきた永続企業ならではの強みだと感じています。

#### ■ コロナ禍における新しい販売取り組み等を教えてください

グループ企業一体として、マスク、除菌ウエットティッシュ等、コロナ禍における感染防止対策品の販売を行っています。当社のグループ企業が運営する、和紙の専門店「小津和紙」でも一部商品を取り扱っています。



店舗編では、手漉き和紙体験や色とりどりの美しい和紙をご紹介します。  
小津史料館館長より、慶応2(1866)年の御用金の文書を見せていただき、商工業者の発展についてお話を伺いました。

## 株式会社白木屋中村傳兵衛商店

代表取締役 **中村 悟** 様



- ◆ 創業年：1830(天保元)年
  - ◆ 業種：江戸箒(ほうき)の製造販売
  - ◆ 所在地：中央区京橋3-9-8
- HP <https://www.edohouki.com/>



### 白木屋傳兵衛

#### ■ これまでの経営危機について教えてください

震災、戦災により店舗が焼失した経験があります。一番大変だったのは戦後、家事の電化によるほうき需要の減少でした。

#### ■ 経営危機をどのように乗り越えてきたのですか

職人の養成、技術の継承が絶対条件です。生産者との相互理解を深めながら、より良質な材料の確保を目指し一緒に生産にも取り組んでいます。また、代表自ら積極的に販売を行い、時代にあわせた新製品を作り出していくための、職人との共同作業をすることが大事だと思います。

#### ■ コロナ禍における新しい販売取り組み等を教えてください

当社商品の特徴を明確にするため、より丁寧な商品説明を行い、ネット販売の強化を行っています。また、時代にあわせて、小ぶりで若干安価な商品や、背の高い方でも苦にならない10cm程柄の長い本箒の新商品も開発しました。



店舗編では、江戸箒の特徴、軽くて弾力のある「掃き心地」の違いをご紹介します。  
プラスチックで生産から廃棄に至るまでほとんどCO2も排出しない江戸箒。掃除機から持ち替えるだけで環境保護、SDGsにも協力できます。

## 株式会社人形町今半

代表取締役社長 高岡 慎一郎 様



- ◆ 創業年：1895(明治28)年
- ◆ 業 種：飲食店(すき焼・ステーキ・洋食)、  
精肉惣菜製造販売、  
グロッサリー製造販売、宅配弁当
- ◆ 所在地：中央区日本橋人形町2-9-12  
(人形町本店)

HP <https://www.imahan.com/>



人形町今半

### ■ これまでの経営危機について教えてください

関東大震災によって、東京にあった約550店の牛鍋屋がほとんどなくなってしまったと聞いています。品質ではなく価格を重視したお店は潰れてしまいましたが、お客様に喜んでいただける高品質なものを取り扱ったお店は残りました。

### ■ 経営危機をどのように乗り越えてきたのですか

私が代表に就任した年にBSE(狂牛病)が発生し、資金繰りと従業員を守ることがやはり重要だと実感しました。また、常に時代の一步先を見て、お客様の立場に立ちながら、守るもの、変化するものを見極めることが大事だと思います。

### ■ コロナ禍における新しい販売取り組み等を教えてください

ご家庭で楽しめるお肉のセットの通信販売や、揚げ物等の精肉惣菜販売の強化をしています。また、社員の発案で、精肉・惣菜の特設会場を設置し販売を行ったところ、驚くほどの売上になったため、部門を越えて、互いの良いところを取りながら、お客様に喜んでいただけるものをつくらうと取り組んでいます。



店舗編では、人形町今半流のすき焼きの頂き方や、行列ができるお惣菜店をご紹介します。店舗に行けなくても、人形町今半の味を楽しむように、通信販売を強化しファンを増やしています。

## 森武道具株式会社

代表取締役 森 伸雄 様



- ◆ 創業年：1913(大正2)年
- ◆ 業 種：武道具用品の製造販売
- ◆ 所在地：中央区日本橋小伝馬町6-12

HP <http://moribudo.co.jp/>



東京 ◀M▶ 日本橋  
森 武道具株式会社

### ■ これまでの経営危機について教えてください

戦後、GHQにより剣道を含む武道が禁止されたため、しばらくはスポーツ用品を取り扱っていました。当社の最大の危機は、昭和34年、創業者の祖父と父、男手二人が同じ年に亡くなったことでした。

### ■ 経営危機をどのように乗り越えてきたのですか

剣道具製造における長年培ってきた伝統の技術と経験、当社の経営理念が従来の顧客から支持されていること、安易に時代に迎合しない商品製作と永年積み重ねてきた信用が大切だと考えます。

### ■ コロナ禍における新しい販売取り組み等を教えてください

来店者数を増やす工夫としてポイントカードの導入や、コロナ対策商品として剣道マスクの製作を行いました。また、インターネットでの販売を強化し、新規顧客の開拓を図っています。



店舗編では、20年来のお付き合いのあるお客様に、当社製品の魅力をお聞きしました。また、店内には創業100周年の際に、職人やお客様からプレゼントされた記念品も飾られていました。人とのつながりを大事にしてきた当社ならではの宝物です。